

2016年3月期1Q決算 (2015年4~6月)

2015年8月7日

KDDI株式会社

代表取締役社長 田中 孝司

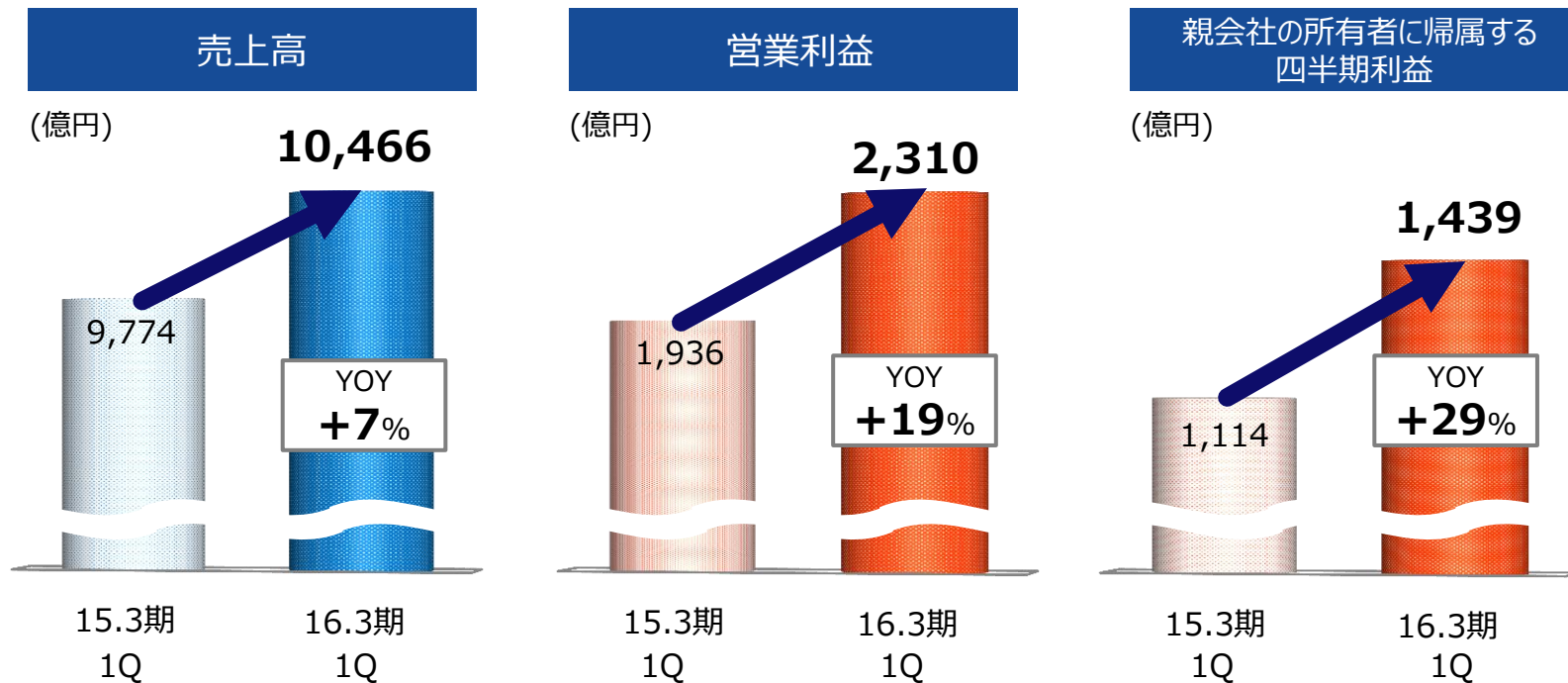


国内通信事業に加え、新たな領域が成長

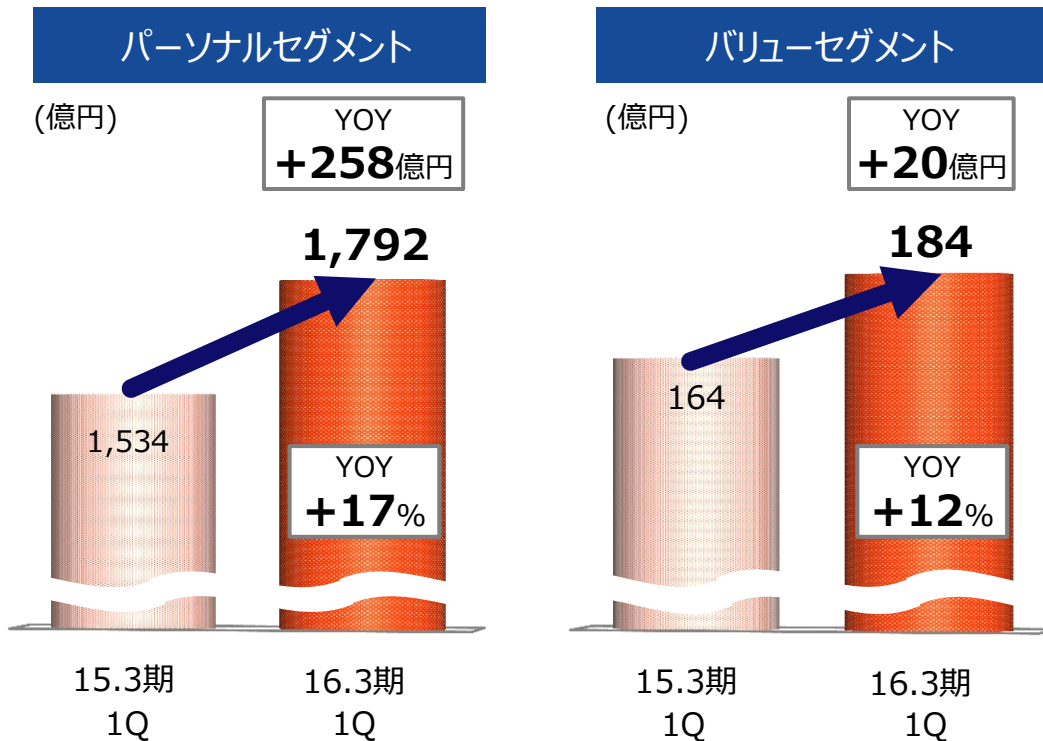
- 1Q 営業利益 2,310億円 YOY +19%^注
- 3M戦略の推進により総合ARPA収入が拡大
- 新たな成長ステージに向けた取組みを推進

16.3期1Q 業績ハイライト

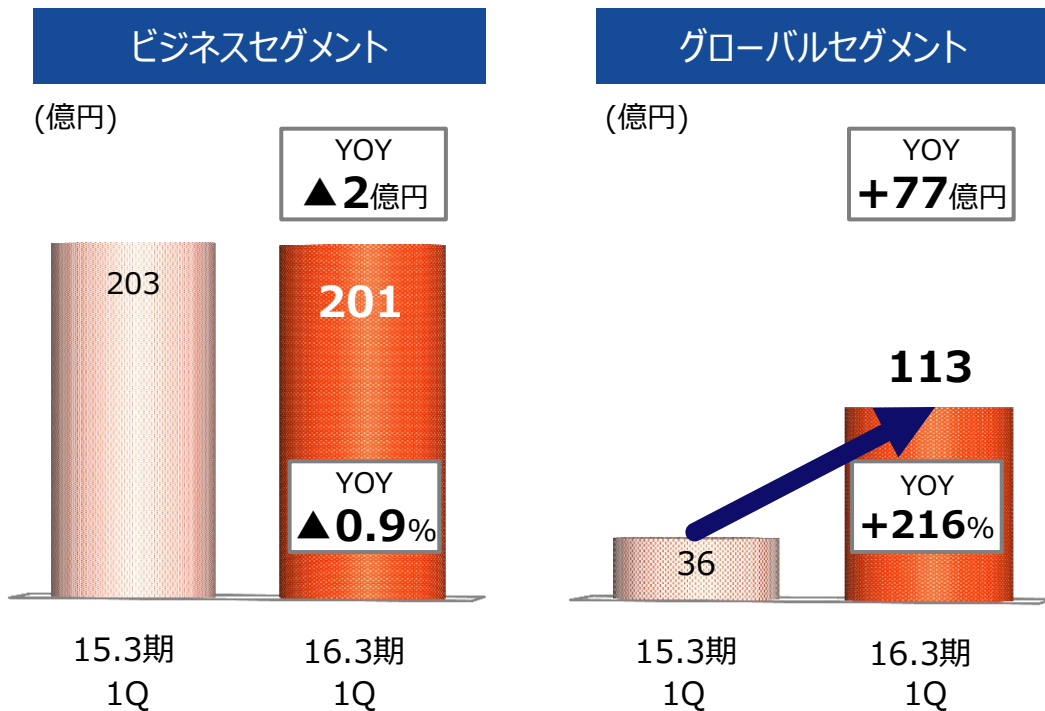
前年同期比「増収増益」を達成



両セグメントともに
順調に増益

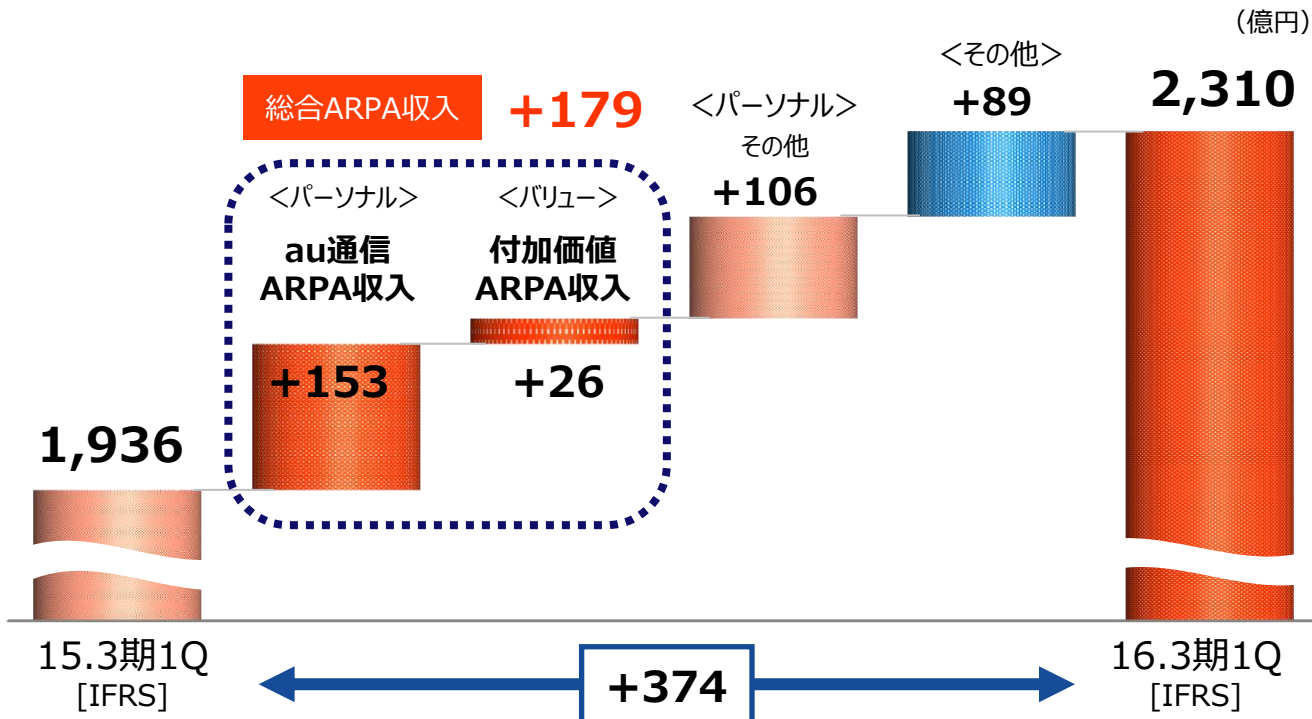


グローバルセグメントは
大幅に増益



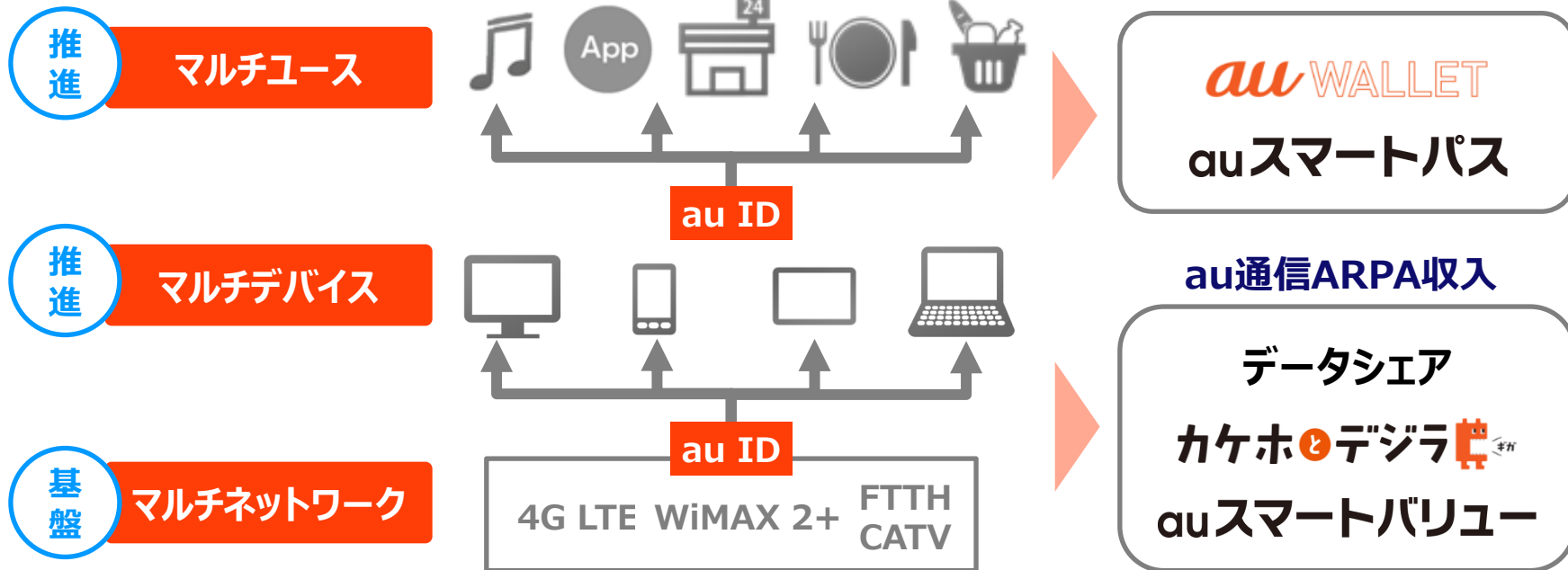
16.3期1Q 営業利益 増減要因

総合ARPA収入の増収が牽引



オペレーション

さらなる3M戦略の推進により総合ARPA収入^注を拡大

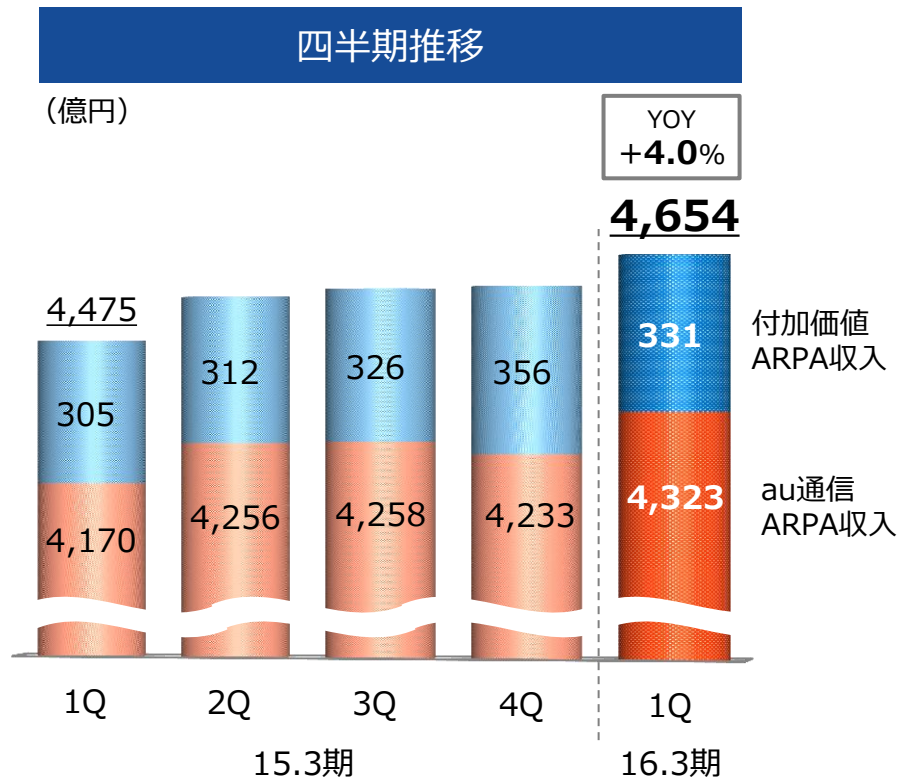


注) au通信ARPA収入 + 付加価値ARPA収入

総合ARPA収入^注

YOY +4.0%

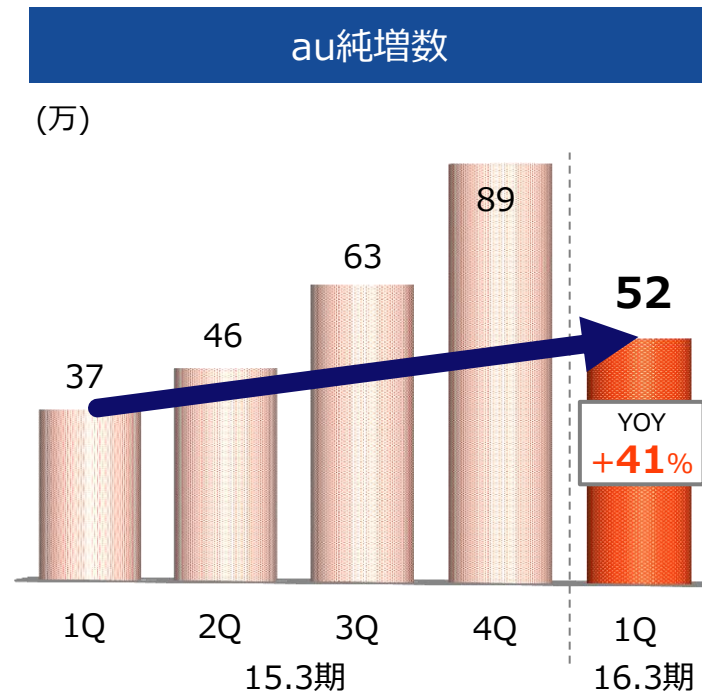
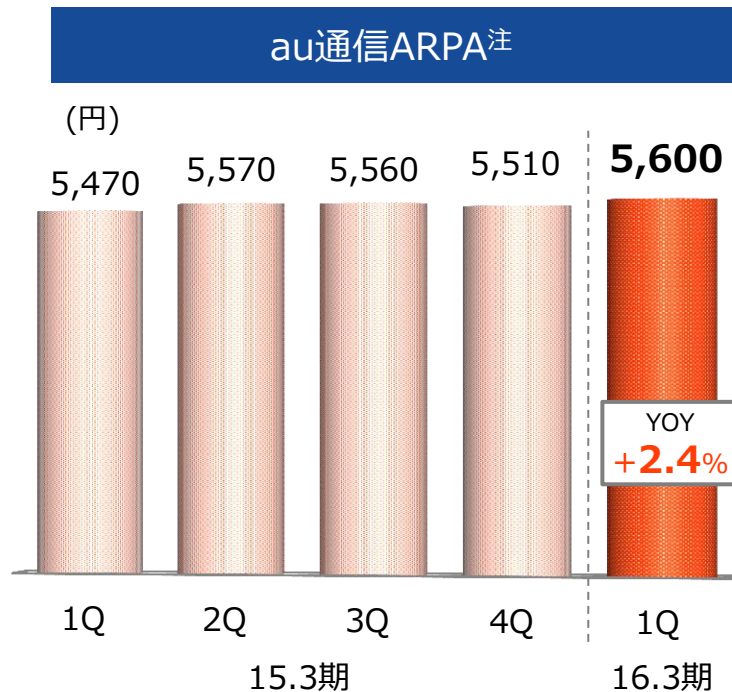
YOY +179億円



注) au通信ARPA収入 + 付加価値ARPA収入

au通信ARPA / au純増数

au通信ARPA、au純増数ともに順調に成長

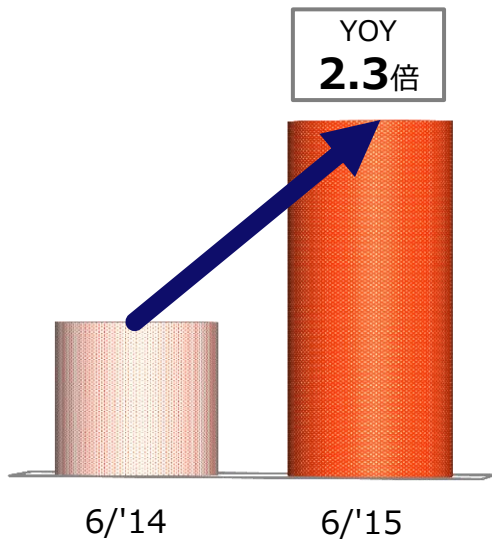


*パーソナルベース

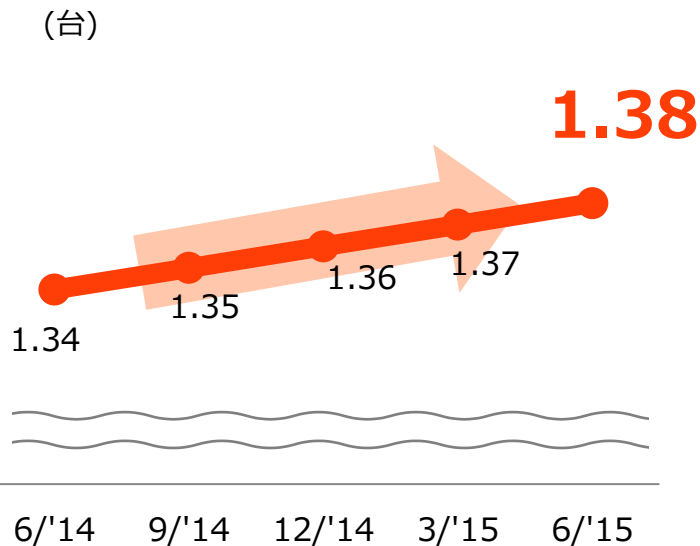
注) MVNOおよびプリペイドを除くモバイル通信料収入÷au契約者数

タブレットはYOY2.3倍に。デバイス数は順調に増加

タブレット累計契約数



一人当たりモバイルデバイス数注



*パーソナルベース

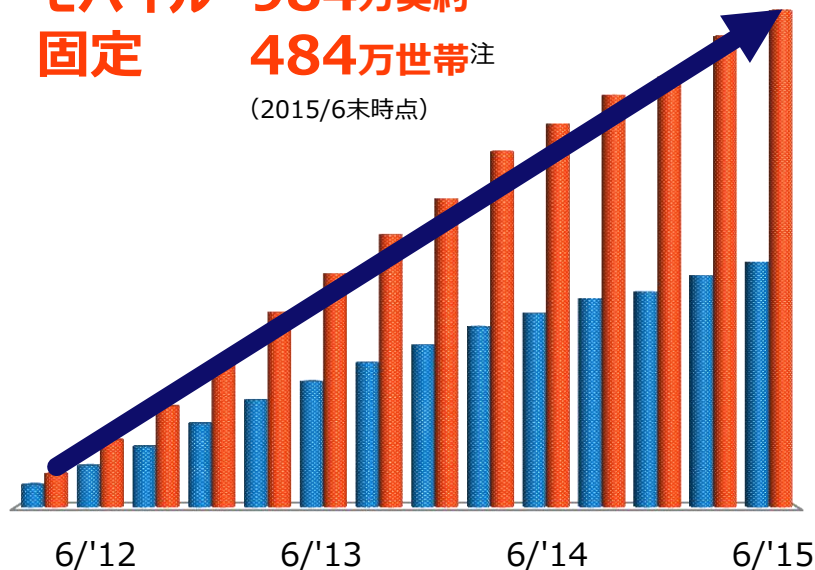
注) プリペイド、MVNOを除く

auスマートバリュー

開始から40か月
着実に拡大

四半期推移

モバイル 984万契約
固定 484万世帯注
(2015/6末時点)



注) 世帯数: KDDIグループ各社、固定系提携事業者の合計

auスマートバリュー

自社サービス契約者の過半に浸透

auスマートフォン契約者への浸透^{注1}

auスマートフォンの52%

(2015/6末時点)



6/'12

6/'13

6/'14

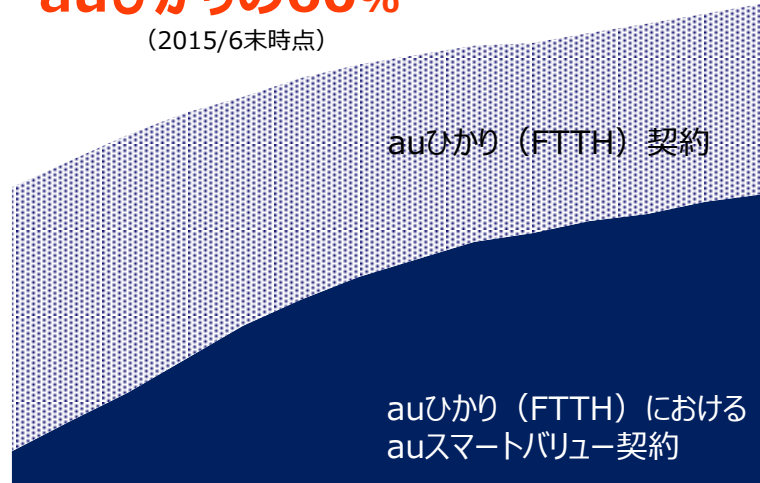
6/'15

注1) auスマートフォン契約者に占めるauスマートバリュー利用者の割合

auひかり (FTTH) 契約者への浸透^{注2}

auひかりの60%

(2015/6末時点)



6/'12

6/'13

6/'14

6/'15

注2) auひかり契約者に占めるauスマートバリュー利用者の割合

付加価値ARPA^{注1}

<決済手数料収入^{注2}>

auかんたん決済
au WALLET

YOY +20円

<自社サービス他収入^{注3}>

auスマートパス等

YOY +10円

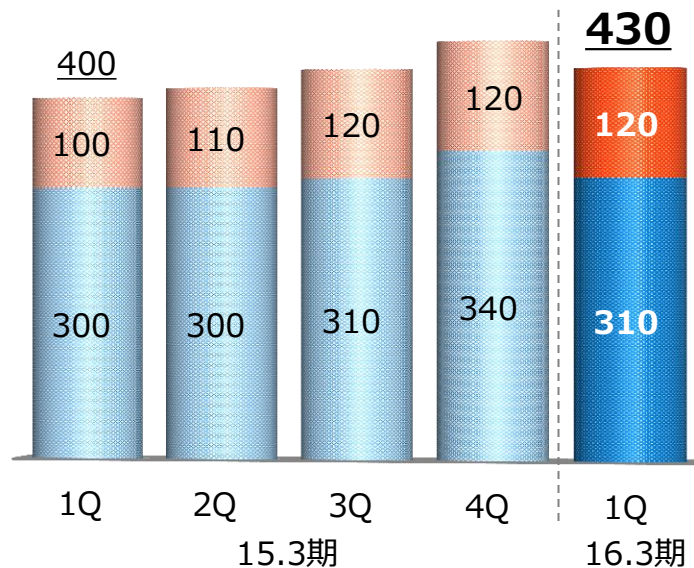
四半期推移

(円)

■ 決済手数料収入^{注2}

■ 自社サービス他収入^{注3}

YOY
+7.5%



注1) 付加価値ARPA = 付加価値ARPA対象収入 (決済手数料収入 + 自社サービス他収入) ÷ au契約者数

注2) 決済手数料収入 = auかんたん決済およびau WALLET決済手数料収入

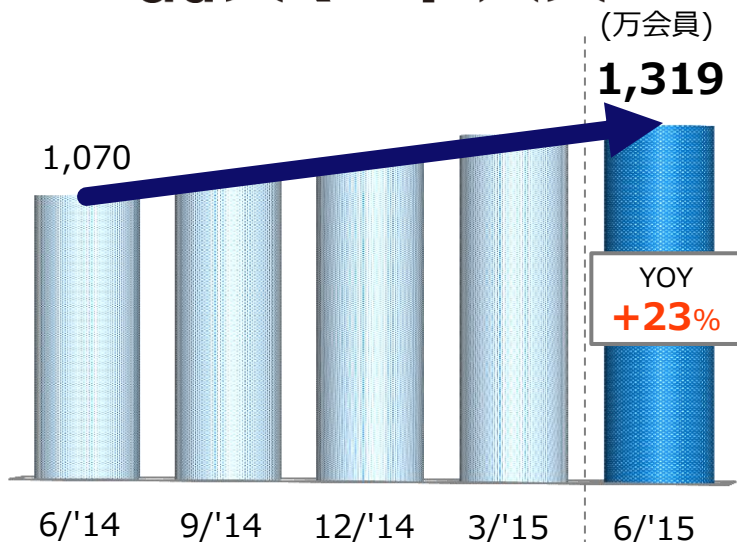
注3) 自社サービス他収入 = auスマートパス・物販をはじめとする自社サービス販売収入および広告収入等

新たな成長ステージに向けて

付加価値領域における顧客基盤を拡大

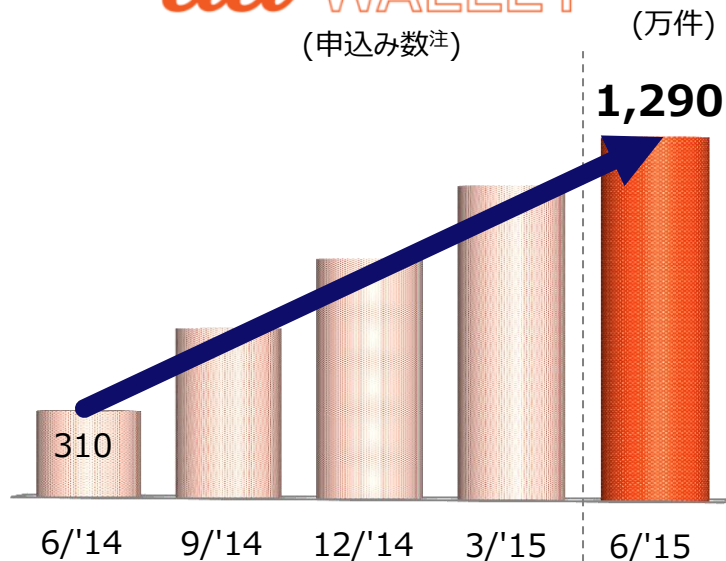
オンライン基盤

auスマートパス



オフライン基盤

au WALLET



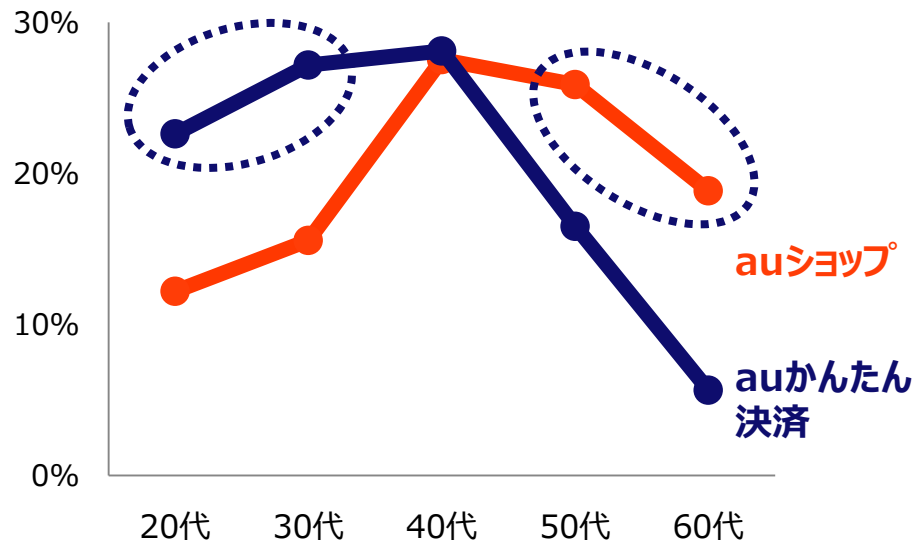
注) au WALLETプリペイドカード

au WALLET

オンライン・オフラインの
チャージ手段を提供



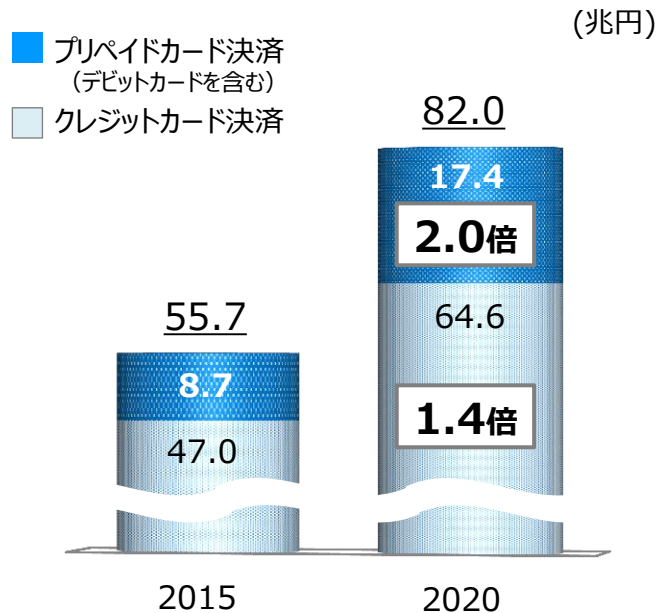
主なチャージ手段の年代別利用率分布



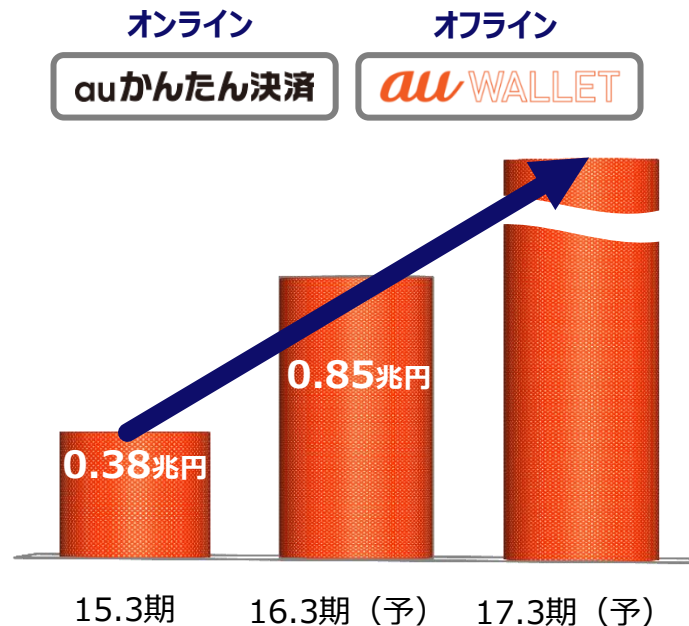
*au WALLETプリペイドカードを利用している20代から60代のサンプルデータに基づく（調査期間：2015年1月～4月）

オンライン・オフラインの両面で流通総額の拡大を目指す

電子決済の市場予想^{注1}



au決済サービス流通総額^{注2}



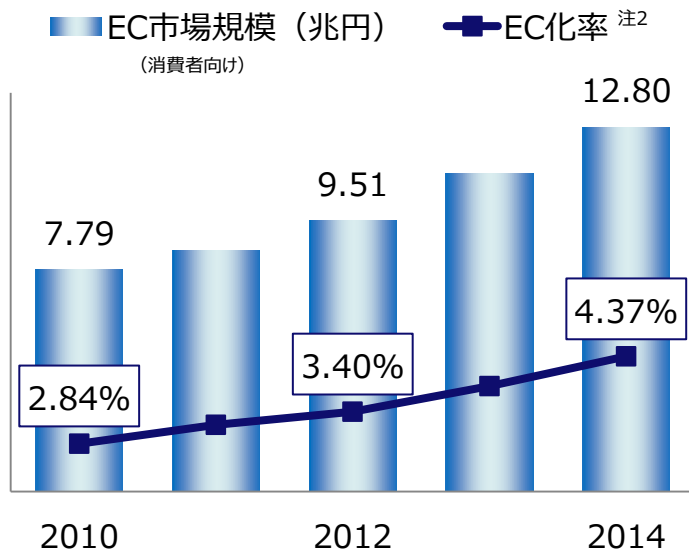
注1) 「電子決済総覧2015-2016」(株式会社 カード・ウェブ、株式会社 電子決済研究所、山本国際コンサルタンツ) を基に当社にて加工して作成

注2) auかんたん決済およびau WALLETの決済における自社サービスを含む流通総額

au WALLET Market

顧客タッチポイントを活用し、利用者の拡大を目指す

電子商取引に関する市場調査注1



au WALLET
Market

2015年夏
開始予定



タブレットを
利用したご案内



スタッフによる
サポート

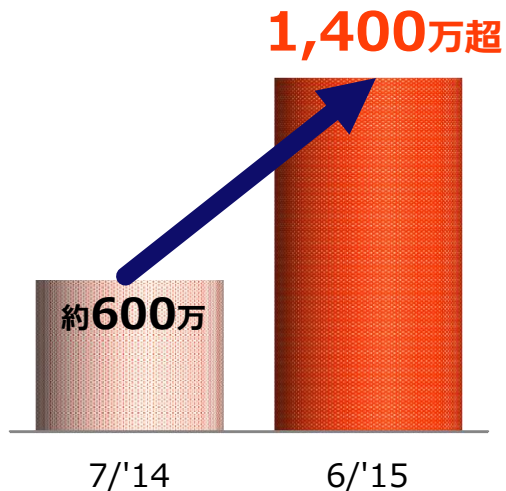
注1) 「電子商取引に関する市場調査」(経済産業省) (<http://www.meti.go.jp/press/2015/05/20150529001/20150529001-3.pdf>) (平成27年5月)

注2) 全ての商取引金額(商取引市場規模)に対する、電子商取引市場規模の割合

利用者の急拡大を支えるネットワークを強化

MPTモバイル契約者数推移

共同事業契約締結時（2014/7）から
1年間で**2倍以上**に



ヤンゴン市内にて撮影。（2015/7/23）
基地局の増設業務に関わるMPTおよびKSGMスタッフ

国内通信事業に加え、新たな領域が成長

- 1Q 営業利益 2,310億円 YOY +19%^注
- 3M戦略の推進により総合ARPA収入が拡大
- 新たな成長ステージに向けた取組みを推進

■ Appendix

(億円)

	15.3期1Q	16.3期1Q	YOY	16.3期 (予)
売上高	9,774	10,466	+7.1%	44,000
営業利益	1,936	2,310	+19.3%	8,200
営業利益率	19.8%	22.1%	--	18.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,114	1,439	+29.2%	4,900
EBITDA	3,308	3,675	+11.1%	14,000
EBITDAマージン	33.8%	35.1%	--	31.8%
FCF	-307	-801	--	2,800

*IFRSベース

(参考) IFRS/日本基準 差異 (15.3期1Q)

(億円)

売上高	連結	パーソナル	バリュー	ビジネス	グローバル	その他・調整
IFRS	9,774	7,507	539	1,590	692	▲554
日本基準	10,206	7,806	545	1,619	667	▲431
差異	▲431	▲300	▲6	▲28	+25	▲123
主な差異	<ul style="list-style-type: none"> 販売コミッションの控除影響 ▲301 ポイント費用の控除影響 ▲66 連結範囲の差異 ▲24 	<ul style="list-style-type: none"> 販売コミッションの控除影響 ▲291 ポイント費用の控除影響 ▲60 連結範囲の差異 +100 		<ul style="list-style-type: none"> 販売コミッションの控除影響 ▲11 ポイント費用の控除影響 ▲6 	海外子会社 報告期間の統一 +25	連結範囲の 差異 ▲124
営業利益	連結	パーソナル	バリュー	ビジネス	グローバル	その他・調整
IFRS	1,936	1,534	164	203	36	0
日本基準	1,948	1,559	152	197	27	14
差異	▲11	▲25	+12	+6	+9	▲14
主な差異	<ul style="list-style-type: none"> のれん非償却 +66 減価償却方法の変更等 ▲89 連結範囲の差異 ▲9 	<ul style="list-style-type: none"> のれん非償却 +50 減価償却方法の変更等 ▲83 連結範囲の差異 +1 	<ul style="list-style-type: none"> のれん非償却 +5 持分法 投資損益 +4 		のれん非償却 +10	連結範囲の 差異 ▲10

セグメント業績一覧

23

(億円)

パーソナル	15.3期1Q	16.3期1Q	YOY
売上高	7,507	8,146	+8.5%
営業利益	1,534	1,792	+16.8%
営業利益率	20.4%	22.0%	--
EBITDA	2,735	2,998	+9.6%
EBITDAマージン	36.4%	36.8%	--

バリュー	15.3期1Q	16.3期1Q	YOY
売上高	539	618	+14.6%
営業利益	164	184	+11.9%
営業利益率	30.4%	29.7%	--
EBITDA	190	207	+9.0%
EBITDAマージン	35.2%	33.5%	--

ビジネス	15.3期1Q	16.3期1Q	YOY
売上高	1,590	1,512	-4.9%
営業利益	203	201	-0.9%
営業利益率	12.7%	13.3%	--
EBITDA	314	310	-1.3%
EBITDAマージン	19.8%	20.5%	--

グローバル	15.3期1Q	16.3期1Q	YOY
売上高	692	768	+11.0%
営業利益	36	113	+215.5%
営業利益率	5.2%	14.7%	--
EBITDA	68	140	+105.5%
EBITDAマージン	9.9%	18.3%	--

*IFRSベース

主要KPI一覧

セグメント			3/'15	6/'15	増減	3/'16 (予)
連結	au累計契約数	(万)	4,348	4,407	+60	4,578
パーソナル	au累計契約数	(万)	3,648	3,700	+52	3,818
	一人当たりモバイルデバイス数	(台)	1.37	1.38	+0.01	1.40
	auスマートフォン浸透率	(%)	54.3%	55.1%	+0.8pt	--
	auスマートバリュー (モバイル)	(万)	933	984	+51	--
	auスマートバリュー (固定)	(万)	459	484	+25	--
バリュー	auスマートパス	(万)	1,289	1,319	+30	--

セグメント			15.3期1Q	16.3期1Q	YOY	16.3期 (予)
	総合ARPA	(円)	5,870	6,030	+2.7%	6,110
パーソナル	au通信ARPA	(円)	5,470	5,600	+2.4%	5,610
バリュー	付加価値ARPA	(円)	400	430	+7.5%	500

設備投資

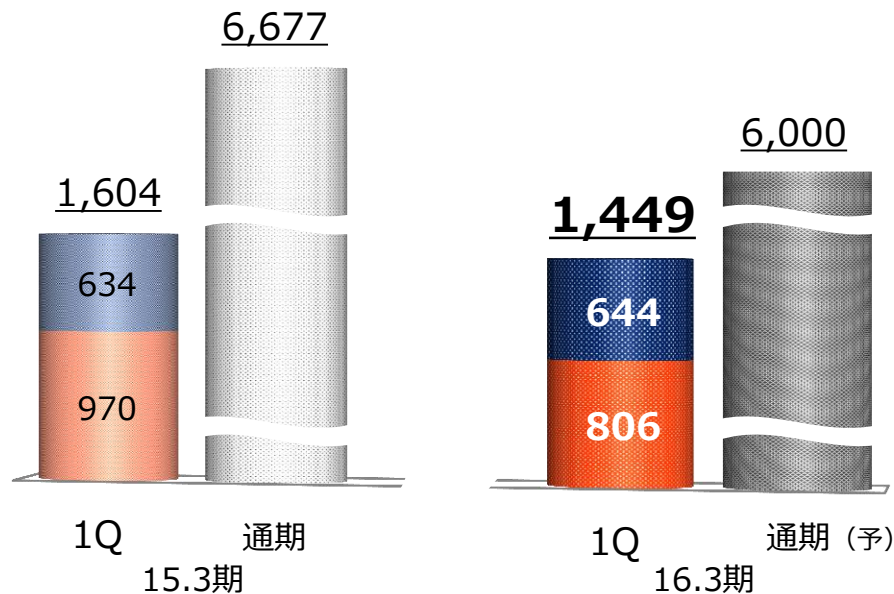
設備投資（支払）

■ モバイル

■ 固定その他（UQを含む）

（億円）

16.3期1Q
1,449億円
 (YOY ▲155億円
 /進捗率 24.2%)



Designing The Future

KDDI

免責事項

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる可能性があります。